

Spectralis OCT2で 眼球の神秘に迫る

小宇宙

日時 ▶ 2016年7月23日(土) 12:30~13:30

会場 ▶ 第2会場 (アクロス福岡7F大会議室)

【座長】



飯田 知弘 先生 (女子医大)

眼球は、しばしば小さな宇宙に例えられます。そこには医学・天文学の枠を超えた神秘性が存在するからです。人は謎に包まれた神秘的なものに惹かれ、また同時にその謎を解き明かしたいと思うものです。眼球も宇宙も、まだまだ分かっていない事が多くあります。

例えばハイデルベルグエンジニアリング社のSpectralisはISS(国際宇宙ステーション)に設置されています。これは若田光一さんのような宇宙に長期滞在した宇宙飛行士の眼球に生じる原因不明の眼球形状異常や視神経の肥大化といった「謎の宇宙病」の検査に用いられているのです。

昨今、我々眼科医はOCTという神秘的な眼球の謎を解明する為の強力なツールを得ることにより様々な事を解明してきました。しかしまだ謎は尽きません。OCT angiographyやWide field OCTといった新機能を搭載したSpectralis OCT2が新たな謎の解明に大きく貢献してくれる事を期待したいところです。

本セミナーでは、鹿児島大学の園田先生と関西医科大学の永井先生に、未知なる小宇宙である眼球の神秘を解き明かすべく、OCT2へとアップグレードされたSpectralisに搭載されるOCT angiographyやWide field OCTについてお話しして頂き、また日本大学の篠島先生には、NASAやJAXAの関係のお仕事をされているご経験から、宇宙と眼についてお話しして頂く予定です。

【演者】



永井 由巳 先生 (関西医大)

OCT広角技術を使った
神秘へのアプローチ



篠島 亜里 先生 (日本大)

OCT宇宙の旅



園田 祥三 先生 (鹿児島大)

OCT Angiographyによる
血流から見る小宇宙

OCT2